

経営健全化方針に基づく取り組み状況（令和5年度）

○法人名

飛騨小坂観光株式会社

○経営健全化方針を策定した理由

第三セクター等の経営健全化等に関する指針の債務超過法人に該当したため

○財政的リスクの状況

	平成29年度 決算	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算
債務超過額 (千円)	2,889	8,701	12,485	16,213	18,261	19,424	

○経営に関する外的要因

- ・平成30年度の災害から始まりR2年度の新型コロナウイルスの蔓延以降、小坂を訪れる観光客の減少は著しく、また、旅行形態が変化し団体旅行からグループ旅行など少人数での旅行が主流となったことから入場者数の減少に結びついており、商品などの売上げに大きく影響している。また、これまでも報酬の削減や職員の削減など経費の削減に努めてきたが、資材など物価の高騰が大きく影響し、経営の回復は厳しい状況である。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で高速道路サービスエリアのレトルトカレーの売上が大幅に減少したことからレトルトカレーの製造販売を中止、すべての顧客を失い現在は鉱泉粥のみを製造している。
- ・燃料の高騰に伴い厳立峡ひめしゃがの湯の入浴場が休止となっており、日帰り温泉を目的とする観光客が減少しており、この影響を受け道の駅の入場者も減少傾向となっている。

○主な取り組み状況（令和6年3月現在）

- ・道の駅はなももの特産品である五平餅の販売量を増加するため、原料である「えごま」の確保に高山市清見町や市内のあぶらえ生産組合と商談しR4年度より100kgほど多く買い付けをすることができた。えごま五平餅の売上げは好調であり、来店の目的となる名物となっている。
- ・鉱泉粥の販売拡大、販路拡大は厳しい状態であるが、令和5年度よりふるさと寄付金の返礼品として登録し、8月より注文が入るようになった。また、道の駅公式ホームページ全国「道の駅」連絡会の道の駅オンラインショップに商品登録ができることとなり、手続きを進めている。
- ・喫茶ブースの利用率を上げるため、地域の女性グループや高齢者の方々の談話の場として利用してもらえるよう声掛けをするなどのPRを行い、リピーターの確保に努めた。
- ・市内を訪れる旅行者や観光客に立ち寄りスポットとして位置づけられるように、インスタグラムを活用し、道の駅の商品や周囲の風景などを定期的に発信した。
- ・飛騨小坂観光協会がインバウンド事業に力を入れており、道の駅の外国人利用者も見受けられるようになってきた。今後も、情報共有を密に行い、国内外の利用者の増加を図る。
- ・施設内に市民の自慢の作品を展示するスペースを設け、地域の方の陶芸作品や絵画作品を継続

的に展示し、観光客だけでなく地域の人が施設を利用しやすい環境づくりを行った。

- ・物価高騰に伴い光熱費などの削減のため、営業時間の短縮（閉館を 17 時から 16 時とした）を行った。

○財務状況

・貸借対照表

	平成 29 年度 決算	平成 30 年度 決算	令和元年度 決算	令和 2 年度 決算	令和 3 年度 決算	令和 4 年度 決算	令和 5 年度 決算
資産総額	15,172	18,207	12,862	10,828	10,587	11,383	
（うち現預金）	4,911	4,598	1,639	4,615	4,719	4,796	
（うち売上債権）	2,500	3,829	2,639	122	205	490	
（うち棚卸資産）	6,672	6,169	5,656	4,042	3,700	4,358	
負債総額	18,061	26,908	25,347	27,041	28,848	30,807	
（うち市からの借入金）	0	0	0	0	0	0	
純資産総額	△2,889	△8,701	△12,485	△16,213	△18,261	△19,424	

・損益計算書

	平成 29 年度 決算	平成 30 年度 決算	令和元年度 決算	令和 2 年度 決算	令和 3 年度 決算	令和 4 年度 決算	令和 5 年度 決算
経常収益	78,792	77,032	75,409	43,039	36,781	44,504	
経常費用	79,170	82,658	79,007	46,582	38,644	43,527	
経常損益	△378	△5,626	△3,598	△3,543	△1,863	△977	
経常外損益	3,003	2,817	4,517	10,734	7,828	8,589	
当期純損益	△543	△5,811	△3,783	△3,728	△2,048	△1,163	